

めざせ世界遺産登録 あなたも参加団体で活動しませんか？

鎌倉の世界遺産の要

鶴岡八幡宮

源頼朝は治承4年(1180)鎌倉に入ると、先祖の源頼義が由比郷に祀った鶴岡八幡(現在の由比若宮)を現在の地に移し、鶴岡八幡宮として造営しました。以後、武家政権所在地の中心的存在として、鎌倉のまちづくりが進められてきました。歴代武家政権は、鶴岡八幡宮を武家政権発祥地の象徴として保護し、江戸幕府により造営された若宮や上宮の建物は、国の重要文化財として守られています。

境内は国史跡に指定されて保護され、鎌倉の世界遺産登録候補地の要ともいえる存在です。鎌倉時代の武家文化を伝える行事も行われており特に流鏑馬神事は貴重なものです。

鶴岡八幡宮には外郭団体として「槐の会」があり、青少年育成・自然環境保護・国際交流などの活動とともに、八幡宮の行事を通じて伝統文化の振興を図る活動として、伝統文化セミナーの開催、「月次祭」の



流鏑馬神事

参列や八幡宮の社の整備活動、流鏑馬の特別拝観等も行っています。皆様にぜひ積極的に参加していただきたいとのことです。

大船からも世界遺産登録を盛り上げる

大船自治町内会連合会

大船自治町内会連合会は、昭和33年2月8日に、大船の自治の向上発展をめざして設立されました。現在、32の自治町内会で構成され、「安全安心」をモッ



大船まつりで世界遺産登録をアピール

トーに、大船のより良いまちづくりを進めています。大船自治町内会連合会役員は鎌倉の世界遺産登録に深い理解を示されており、会長は推進協議会の理事を務めるとともに、広報部会のメンバーとして活動しています。

平成21年11月に、推進協議会が主催した「世界遺産登録推進のための意見交換会(玉縄・大船地区)」に参加し、推進協議会員や玉縄の町内会の方々との活発な論議が実現しました。また連合会・商店会・企業・行政が一体となって開催している「大船まつり」では、7回目となる平成22年5月に、推進協議会のブースを設けてグッズの販売等の啓発活動を行いました。岩佐連合会長は「鎌倉の玄関口としての大船の発展と、世界遺産への登録をめざし、優しさ温かさのあるふれあいのまちづくりを進めていきたい。」と登録推進の意気込みを語ってくれました。

古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

第19回 建長寺はどんなお寺？

建長寺は、建長五年(一二五三)に鎌倉幕府第五代執権北条時頼が中国(宋)の僧蘭溪道隆を招いて創建した、わが国最初の禅宗専門道場です。寺地は、山後に入り込んでいる谷戸を開発することで確保されており、三門(山門)・仏殿・法堂・方丈を直線上に並べる伽藍配置は、京都・東福寺などその後の日本の禅宗寺院の手本とされました。度重なる火災や地震によって、創建当初の建物は残念ながら失われていますが、元弘元年(一一三三)の様子を描いた「建長寺伽藍指図」によって、往時の姿をしのぶことができます。創建当初から現在まで維持されてきた禅宗庭園や、蘭溪道隆ゆかりの西来庵をはじめとする塔頭(禅宗で大寺の高僧の死後、弟子がその墓塔を守るために建てた子院)の存在などにも、建長寺の特徴がよく表れています。

鎌倉時代の建長寺は、当時世界の最先端だった中国の学問や文化を学べる大学のような存在でもありました。北条氏ら武家が、建長寺などの禅宗寺院で、禅や中国の学問・文化から大きな影響を受けたことによって、全国にも禅宗寺院が建立されるようになりました。建長寺は武家との関わりを通じて、禅が日本文化の発展に大きな役割を果たすきっかけとなった寺院なのです。



Event! the 世界遺産

鎌倉世界遺産登録推進協議会 主催

「平成23年度武家の古都・鎌倉塾」開講予定

講師：第1回 岡田保良さん(国士舘大学イラク古代文化研究所所長) 第2回 河野真知郎さん(鶴見大学教授)
第3回 伊藤正義さん(鶴見大学教授) 第4回 阿部能久さん(鎌倉市世界遺産登録推進担当学芸員)

と き 平成23年9月24日(土)、10月8日(土)、10月15日(土)、11月5日(土) 10時～11時30分
ところ 鎌倉芸術館集会室 定員 100名(定員超は抽選) 受講料 3,000円(全4回分)

鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会 主催 鎌倉世界遺産登録推進協議会 共催

第21回 鎌倉の世界遺産登録連続シンポジウム「仏教から見る鎌倉と世界遺産登録」

現在から未来に向けて、鎌倉のお寺の話を伺います。世界遺産のまちのお寺に関する認識を高めましょう。

パネリスト／高井正俊さん(建長寺 宗務総長) 仲田順昌さん(覚園寺 副住職) 西岡芳文さん(県立金沢文庫 学芸課長)
コーディネーター／内海恒雄さん(推進協議会広報部会長)

と き 平成23年10月2日(日) 13時30分～16時30分 ところ 鎌倉商工会議所ホール
定員 130名(先着順/定員になり次第締め切ります) 参加費 500円
申込方法 住所・氏名・電話番号・メールアドレスを明記、はがき・FAX・Eメールで下記へ。〒248-0012 鎌倉市御成町9-1 TEL 0467-23-6621 FAX 0467-23-6631 鎌倉風致保存会「世界遺産連続シンポジウム係」
Eメール: fuhchi@fsinet.or.jp

ドナルド・キーンさん講演とシンポジウム

「日本文化の過去・現在・未来 ～鎌倉の歴史から学ぶもの～」

日本への帰化の意思を表明されたドナルド・キーンさんにお話しいただき、
ついで「武家の古都・鎌倉」を軸にして富士川義之さん(元東大教授・鎌倉ペンクラブ幹事)、
佐藤美智子さん(鎌倉ユネスコ協会会長・高德院)が加わりシンポジウムを行います。

と き 平成23年10月29日(土) 14時～16時30分 ところ 鎌倉生涯学習センター ホール
主催 鎌倉世界遺産登録推進協議会 共催 神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会
後援 文化庁、鎌倉市観光協会、鎌倉ペンクラブなど 参加費 1000円 ※申込の詳細は広報がまくら等でご案内します。

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

推進協議会の総会では、世界遺産登録に関する準備状況が報告されました。国がユネスコに提出する推薦書(案)の概要では、鎌倉の主な価値は日本の武家政権の発祥地で「武家文化」が生み出されたこととしています。構成資産は、山姥部・自然地形と社寺境内・考古学的遺跡が候補で、従来の文化財保護法の国史跡に加えて、古都保存法により守られている山姥部を取り入れた画期的なものです。見込みでは、暫定版の推薦書の提出予定を九月として、正式版提出の予定から早ければ平成二五年度の登録の可能性が出てきました。いよいよ鎌倉の世界遺産登録も正念場の年を迎えました。今年度後半は、世界遺産登録の実現と登録後も見据えた推進協議会の行事が相次いで行われます。これらに推進協議会の方々が仲間を誘って積極的に参加して、他には見られない市民参加の世界遺産登録を実現させたいものです。

編集後記

【編集委員】大竹正芳 香山 隆 菊池威雄 草場圭三 小池潮里 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 長山元彦 能登原秀実 萩野なおみ 福澤健次 牧れい花 森まなみ 【デザイン】澤田ながえ

鎌倉世界遺産登録インフォメーション&放送スケジュール

インターネット ●鎌倉世界遺産登録推進協議会HP <http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>
FMラジオ ●鎌倉FM(82.8MHz)…毎週日曜 12:00～12:30 「湘南鎌倉いまむかし」番組後半「鎌倉世界遺産への道」
ケーブルテレビ ●JCN 鎌倉…毎週木曜 17:10～(当日再放送あり) 7Days デイリー 「一問一答! 鎌倉検定の道」

鎌倉世界遺産登録推進協議会
事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10(鎌倉市世界遺産登録推進担当)
Tel.0467-61-3849 Fax.0467-23-1085 E-mail:sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp